

生横濱

あけまして

おめでとうございます

教祖百四十年祭へ向かう三年千日に渡る年祭活動の仕上げの年を迎えさせていただきました。この度の年祭は、これまでの年祭活動とは違い、各々の教会で目標を立てて活動を推し進めてもらいたいというのが真柱様の思召です。

その真柱様は1月4日日本部第二食堂にて、本部在籍者、直属教会長、教区長、集会員、各会

立教188年
1月号
(通算第287号)

発行者
天理教生横濱分教会

委員、施設長らを集めた「年頭あいさつ」に於いて、『論達第四号』に込めた思いについて話を進められました。

「論達は、全教が心をそろえて年祭に向かって歩むために出したもの」であり、「みんな一手一つとなつて、たすけ一条に邁進する姿をもって、教祖にご安心いただき、お喜びいただきたいという気持ちであった」と述べ、一手一つとは「一つの目的に向かつて、それぞれが自分の与えられた立場のつとめをしつ

かり果たすことによつて、ご守護いただける姿ということができる」と明示されました。

即ち、一手一つになれば、自分一人では出せない力を与えていただくことができ、自分一人では味わえない喜びを味わわせていただくことができるとお話し下さいました。そして、一手一つになるためには「まず一人ひとり、教祖の思召に心を合わせることである。すなわち、神一条になることである」と、神一条の心に立脚して、その上で、思召に少しでもお応えできるように、自分に与わった立場の役割、心定め達成やそれぞれの目標に一生懸命に取り組むことによつて、実りのある年に

ご報告

- ・ 元旦祭
- ・ おせち団参
- ・ 比企利子刀自一年祭

お知らせ

- ・ 2月月次祭巡教
- ・ 子ども食堂

今月の予定

15	11	7	8	6	3	1	12	26	24	23	17	16	11	11	
日	日	日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	日	日	月	
教会大掃除	生横濱月次祭	比企家講社祭	みんなの食卓	太田家講社祭	生旭月次祭	みんなの食卓	御霊祭	ご本部月次祭	康靖家講社祭	雅敏家講社祭	大教会月次祭	関東兵神会	生田川月次祭	益元家講社祭	生横濱月次祭

立教百八十七年十月月次祭祭文

護さだ致動谷齊す時教本までらを日行気教せの今御ま共程まえよ到間親宏親この
 のいくしき支活。旬に日す親ぬ唱のわに祖心で日用すははにをろ来を神久神れ
 程ま所世の部動来におは。神親和日せ勇よを只のによ届誠陽おづとお様慎天の
 をし存界中で日月お越上。様心しをてんり一今吉勤うかに気啓い共創にん理神
 一てでたには「にけし級。ににて楽しいでおつか日め日ぬあぐきさにめはで王床
 同尚ごす心当がはる下生。もお日したつ教にらは励々なりら下い教下一申命に
 と一ざけ新教全教我さ田。お縫頃みだとえ揃お立ま勇ががしさの祖されしのお
 共層いのた会教祖々つ川。勇り賜にきめいえつ教せんらたへい元をれつ上御鎮
 に陽ま歩にをで百のて分。みする寄まさたてとのてでもくとまをや、のげ前ま
 慎気すみ立会一四勤お教。下るごりすせだ親め元いお御勿おし明し天陽まにり
 んぐ。を教場齊十めり会。さ真守集。てい神奉一た与厚体連たかろ保気す天下
 でらこ一のにに年方まよ。い実護い御いた様仕日だえ恩なれ。しに九ぐ 理さ
 おしの手元実実祭をすり。まのにし前たおの者にいいにい通爾世二年ら 教い
 願へ心一一施施の懇。神。す状お道にだつ心参縁てたお極り来界の十し 生ま
 い近定つ日ささ第ろお山。よを礼のはきとと拝のおだ応み下変だ世月を 横す
 申づめにのれれ三につ真。うご申子種、め一者日りくえでさわすの二樂 濱元
 しけを進理ま、回おと一。お覧しど々秋をつ一柄ま持さごいらけ表十し 分の
 上まおめにす私、論め会。願く上もの季真に同ですちせざまぬのに六み 教神
 げす受さ深。共よし後長。いだけ達物大剣な呼ご。場ていす親真現日に 会・
 まよけせくそのう下に様。申さ尚がを祭にれ吸ざそ、いま御心実れ旬こ 長実
 す。う取て思う保ぼさはが。しいもお供を且るをいの立たす慈のの給刻の 佐の
 ごりいいし土くい今ご。上ま変うえ執つよ合ま中場だ。愛ま御い限世 々神
 守下たをたヶーまの巡。げしわた今り陽うわすにのけ私のに教、の人 木

胡弓	三味線	小琴	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぼん	笛	ておどり	地役	献	指	賛	扈	祭
									方割	長	方	者	者	主
勝田好子			比企靖章	佐々木佑人	江原慶子	江原慶子	佐々木千鶴	生田川会長 真下育久 會長夫人	座りづとめ	真下育久	真下育久	佐々木千鶴	佐々木雅敏	會長
勝田好子			前會長夫人	佐々木佑人	真下育久	江原慶子	佐々木千鶴	會長夫人 佐々木雅敏	前			佐々木佑人	比企靖章	
勝田好子	佐々木佑人		前會長夫人	真下育久	江原慶子	江原慶子	佐々木千鶴	會長夫人 佐々木雅敏	後		佐々木佑人	比企靖章	佐々木雅敏	伝供

祭典役割割

兵神大教会

教祖140年祭 年祭活動の方針



教祖のひながたを手本に
「明るい心」で通りきろう

【実践目標】

一、身上おたすけ

身上のたすかりを願って動き、
親神様・教祖のお働きをお見せ頂こう

一、人だすけ

人のたすかりのために自分の時間を使おう

後編
記集